

マルティン・ ガルシア・ガルシア

Martín García García
Piano Recital 2026

ピアノ・リサイタル
2026

ピアノ界の寵児！
すべての聴衆を魅了する個性豊かな歌うピアノ

F.ショパン

バラード 第2番 へ長調 op.38
スケルツォ 第4番 ホ長調 op.54
スケルツォ 第3番 嬰ハ短調 op.39
3つのマズルカ ロ長調、へ短調、嬰ハ短調 op.63
バラード 第4番 へ短調 op.52

F.リスト

尼僧院の僧房 S.534
伝説より 第2曲 S.175
“水の上を歩くパウラの聖フランチェスコ”
ソナタ 口短調 S.178

※曲目は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

2026
10.25 15:15開場
16:00開演
市民会館シアーズホーム夢ホール

(一般財団法人 熊本市文化スポーツ財団)

チケット料金 (税込)
全席指定 一般 ▶ 5,500円 U25席 ▶ 2,500円
車いす ▶ 5,500円 (数に限りあり)

プレイガイド

イープラス <https://eplus.jp/rkk-1025/>
チケットぴあ(Pコード316-433)、ローソンチケット(Lコード 81821)
セブンチケット(セブンコード 113-896)、熊本県立劇場、大谷楽器
お問合わせ: RKK熊本放送イベント係: Tel.096-328-5525 (平日10:00~17:00)



子ども無料ご招待

この公演は

「文化庁令和8年度劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」に採択されています

4~18歳を対象とした「子ども無料チケット」の
お申込みはローソンチケット専用サイトからお
申し込みください。同伴の保護者の方は半額で
鑑賞できます。



https://l-tike.com/stl/martin_kumamoto_kodomo/sitetop

※未就学児の入場はお控え下さい。
※車いす席をご希望の方は RKK イベントにお電話ください。
※公演中止の場合をのぞきチケットの払い戻しはいたしません。
※子ども無料ご招待の詳細は RKK 熊本放送ウェブサイトまで
▶ <https://rkk.jp/>

新時代の巨匠候補！待望の熊本初公演

Martín García García



Profile

マルティン・ガルシア・ガルシア：ピアノ

スペイン出身のピアニスト、マルティン・ガルシア・ガルシアは、聴衆と批評家の双方を魅了し続けている。ニューヨーク・コンサート・レビューは、「常に新鮮で深く思索された解釈を探究し続けており、声部のコントロールと色彩感あふれる音色で聴衆を熱狂させた」と評している。

ガルシアは、2021年クリーヴランド国際ピアノ・コンクールで第1位、同年のショパン国際ピアノ・コンクールで第3位を受賞し、さらに同コンクールにおいてワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団より最優秀協奏曲演奏に対する特別賞を授与された。2022年には、ハンブルク交響楽団よりサー・ジェフリー・テイト賞を受賞している。その大胆な音楽的選択はとりわけ高く評価され、「ガルシアのショパンとリストは超越的な力を示した。巨大で柔軟な響き、恐れを知らぬヴィルトゥオジティ、そして作品一つひとつを生き生きとした音楽劇へと変貌させるヴィジョンを備えている」(ConcertoNet)と称賛された。

これまでに、ハンブルク交響楽団、ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団、スペイン国立管弦楽団、パルセロナ交響楽団 (OBC)、シンフォニア・ヴァルソヴィア、東京フィルハーモニー交響楽団、ソウル・フィルハーモニー管弦楽団、ブラジリア管弦楽団、リトアニア国立交響楽団、NHK 交響楽団など、世界有数のオーケストラと共演している。指揮者には、ミハイル・プレトニョフ、ヴァシリー・ペトレンコ、アンドレイ・ボレイコら名匠が名を連ねる。

2025年にはアルバム『サイレント・ミュージック』をリリースし、聴衆から高い評価を受けた『ショパンとその師』(2022年)、『イーヴン=タイド』(2024年)に続く成功を収めた。演奏は各方面から絶賛され、ニューヨーク・クラシカル・レビューは「卓越した音楽性と不屈のテクニックを備えた驚異的なピアニスト」と評し、Bachtrack は「優れたコントロール、洗練されたペダリング、明晰なテクスチュア、節度あるルバート、そして細部への徹底した注意」を称賛している。Scherzo 誌もまた、「感受性、情熱、そして舞台上での完全な献身」を高く評価した。

2026 / 27 シーズンには、中国、日本、台湾、オーストラリアを巡るツアーを予定しており、20 か国以上に及ぶ公演活動を通して、同世代で最も国際的に活躍するピアニストの一人としての地位をさらに確固たるものにしていく。

マルティン・ガルシアは、ガリーナ・エギアザロワに師事したマドリードのソフィア王妃高等音楽院を卒業し、ソフィア王妃より最優秀学生賞を授与された。その後、ニューヨークのマネス音楽院にてジェローム・ローズに師事し、ピアノ専攻の修士号を取得している。

Revista Musical Catalana は次のように評している。「ガルシアは、極限のリスクと絶対的なコントロールを融合させた、明確無比なスタイルを築き上げる、現代を代表する真の音楽的建築家の一人である。」